

兼商 マデック® EW

晩柑類の安定生産・
果実品質の向上に!



- 貯蔵中のへた落ちを防止し黒腐病の発生を抑えます
- 果実の品質をそこなうことなく貯蔵でき、出荷の調整ができます
- 収穫前の落果防止に効果があり、安定生産に効果的です
- 翌年の花数減少、樹勢劣化の原因となる冬期の落葉を防止します
- においが少なく、使いやすい製剤です



アグロ カネショウ株式会社

®はアグロ カネショウ株の登録商標です。

詳しい製品情報
は、HPでご確認
いただけます。



■使用方法

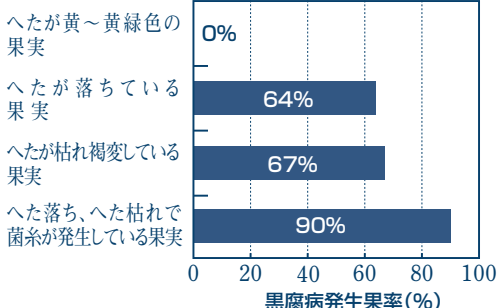
作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MCPBを含む農薬の総使用回数
かんきつ	冬期落葉防止	2000～3000倍	300～400ℓ/10a	11月～1月 但し、収穫10日前まで	1回	立木全面散布	冬期落葉防止及びへた落ち防止に使用する場合は合計1回以内、後期落果防止に使用する場合は2回以内(但し、異なる目的には使用しない)
	へた落ち防止			収穫開始予定日の20～10日前			
	後期落果防止			着色期から収穫20日前まで	2回以内		

令和7年7月9日現在

へたが緑色で果実についていれば、黒腐病が発生していません。

へたが落ちている果実を割ると、多くが腐敗しています。

宮内伊予柑におけるへたの状態と腐敗果の関係
(山口県大島柑きつ試験場 昭和54年)



試験成績

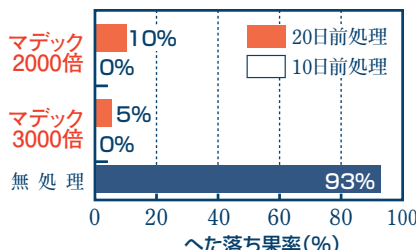
伊予柑のへた落ち防止

試験場所：熊本県農業研究センター果樹研究所 (平成9年)

供試作物：伊予柑 (宮内伊予柑、12年生)

処理日：12月4日 (収穫20日前)、12月15日 (収穫10日前)

調査方法：12月24日に収穫し3ヵ月常温貯蔵後3樹全体のへた落ちを調査



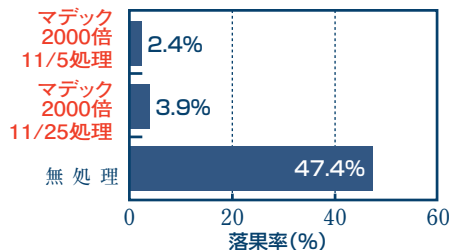
河内晩柑の後期落果防止

試験場所：愛媛県立果樹試験場南予分場 (平成12年)

供試作物：河内晩柑 (7年生)

処理日：11月5日、11月25日

調査方法：4月12日に5樹全体の結実数を調査し落果率を算出



⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所要量を所定量の水にうすめよくかきまぜてから散布してください。なお調製した薬液はその日のうちに使用してください。
- 本剤は植物ホルモン剤であり、散布条件によって薬効、薬害に影響が現れやすいので他の薬剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減するので、天候を見極めてから散布してください。
- 使用の際は薬液が果梗部を中心に葉先からしたたり落ちない程度に樹全体にむらなく、ていねいに散布してください。
- 本剤は一般作物にもごく微量でホルモン効果をあらわすので周辺作物にからないように注意してください。また使用後の散布器具等は十分洗浄してください。
- 本剤は植物ホルモン剤であるので使用に際しては、特に使用時期、使用量、使用方法などを誤らないよう病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 極端に樹勢の強い樹や樹勢の弱い樹、また幼木では本剤の使用をさけてください。
- へた落ち防止を目的として使用する場合、果実を長期間貯蔵したい場合にのみ使用してください。
- 着色前および着色初期には、着色遅延のおそれがあるので使用しないでください。

- かんきつに使用するに当たり、下記に記載した使用目的と作物の組み合わせ以外に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- ・「へた落ち防止：伊予柑、甘夏、ネーブル、はっさく、不知火、はれひめ、天草、はるみ、はるか、せとか、ポンカン、まりひめ、ひめのつき、南風、愛媛県試第28号、長門ユズキチ、ブラッドオレンジ」
- ・「後期落果防止：清見、河内晩柑、はっさく、日向夏、セミノール、サマーフレッシュ、カラ、バレンシアオレンジ、アンコール、マーコット」

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な所に保管してください。

AJ25G16 (NマデEW)